

令和6年度 土浦日本大学高等学校通信制課程自己評価結果

令和7年度 取組目標とその方策

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
教育活動 (教務)	生徒の進路目標に即した指導を目指し、教員の資質の一層の向上	生徒一人一人の進路目標に即した進路指導及び学習指導を推進する。特に、学習が定着していない生徒のレポート提出やスクーリング参加が課題である生徒に対してメディア対応によりスクーリングの軽減化を図り、個に即した学習指導の体制を構築し、運用する。	年度当初にメディア活用クラスを整備し、運用することで、個々の生徒の特性を十分把握し、スムーズな単位修得を実践する。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
教科指導 (教務)	新学習指導要領に即した学習指導の推進 メディア活用クラスの構築	各教科において新学習指導要領に即した指導を実践する。生徒一人一人の進路目標を正確に把握し、適切な学習内容になるように個に応じた指導計画を準備、実践する。 また、メディア活用クラスにおけるシラバスの作成や、レポート、スクーリング内容を検討し、年度の途中においても改善を図る。	学年会、教科会により生徒の取組状況を共有し、常に課題解決を図る。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
学校生活への配慮 (生徒指導)	①生徒の把握	個々の生徒が抱えている課題は様々である。個別の指導を軸として普段からの観察や声掛け、面談等により個々の課題を明確にして、学年会や教科会で情報共有を図り、全教職員で適切に対応する。家庭への連携も密にする。	年間を通して取り組む。
	②挨拶の励行	個々の生徒にしっかりと寄り添った指導として、登下校時の挨拶（声掛け）を教職員が励行し、生徒にとって安心感のある環境であることを示し、信頼関係を構築する。	年間を通して取り組む。
	③いじめの根絶	過敏な生徒が多数在籍しており、アンケート等を活用した『早期発見』、『適切な対応』、『再発防止』だけでなく、『未然防止』の視点からあらゆる教育機会に全教職員が注視する体制で取り組む。また、カウンセラーとの連携を図り、個々の課題に寄り添う指導を目指す。	年間を通して取り組む。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
進路指導	①日本大学付属推薦や他大学受験への適切な対応	基礎学力到達度テスト1か月前から実力養成講座を計画、実施し、生徒の学力や意識の向上を図る。また、指定校推薦、公募推薦にも適切に対応する。必要書類（志望理由書）作成や論文指導、面接指導の充実を図る。推薦書や調査書の処理についても万全な体制で臨み、生徒の意思確認等を確実に行之、進路目標を達成できるよう指導する。	日本大学からの情報は迅速にクラスルームや面談等を通じて生徒、保護者に確実に伝える。 教職員へは朝会・教職員会議で伝達し、徹底を図る。
	②全日制課程開催の日本大学出張講義、オープンキャンパス等への積極的な参加	全日制で開催する進路講演会、ガイダンス等について、通信制の生徒に参加を促し、自己目標達成のための情報収集の場とする。 生徒の進路目標を達成するために、オープンキャンパス等への積極的な参加を促し、志望校選定のための情報収集の場とする。	年間行事予定表に即して実施する。
	③専門学校、就職のための適切な進路指導の充実	個々の目標に即した専門学校、就職のための情報提供やオープンキャンパス、職場体験にも寄り添った指導を徹底する。また、必要書類（志望理由書）作成や、論文指導、面接指導の充実を図る。	様々な方法の試験に適宜対応し、遅延なく適切に指導する。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
教育相談	生徒の学校生活への適応支援の充実	普段の学校生活では担任が生徒を支えているが、生徒の状況や希望によりスクールカウンセリングの活用を促す。その際、対面、Web面談等の日程を調整し、実施の際には教員を同席させる。また、教育相談体制を保護者にも周知して家庭との連携を図る。 必要な生徒には用語教諭による個別指導計画を立案し、ケース会議を開催や外部の諸機関との連携を推進する。	生徒個々の状況に応じて適宜対応する。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
いじめ防止対策	いじめの未然防止	現在、通信制課程では生徒のいじめ等の事案は確認されていない。しかし、在籍生徒の増改より級友との人間関係が広がりを見せている。情報収集を図り、適切な指導を実施する。今後はいじめ防止アンケートに実施、活用を図り、『未然防止』を指導の軸として、教職員の観察や情報の集約、養護教諭、カウンセラーとの連携で協働する。 生徒、保護者には面談時に聴き取りを行い、把握した事案に対しては直ちに調査・認定・対応策を検討し、被害生徒の支援を最優先しつつ、加害生徒も支援する。また、関係保護者と情報を共有し、家庭における支援・指導を要請する。重大事態が発生した場合は全日制のいじめ防止対策室と連携し、県への報告、外部有識者の招聘して対応に当たる。また、犯罪行為の場合は警察とも連携する。 様々な事案に対して再発防止策を検討し、実施する。また、発生した事案を全教職員が共有し、同種事案発生の防止に取り組む。 いじめ問題に対する教職員の意識を向上させ共通理解を深めることを目的として、定期的に問題提起や情報提供を行う。	生徒個々の状況や事案に応じて適宜対応する。
校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
広報 (情報入試)	①新入生、転籍、転学の生徒確保の推進	新校舎を活用し、新入生、転学生確保に向けて進路相談会を延べ11回実施する。 中学校、高等学校の状況等を把握し、訪問することで本校の特色を広報する。また、年度の途中に転籍、転学者を想定して、高等学校訪問を計画的に取り組む。 通信制課程連絡協議会合同説明会、私学フェア等への参加、ホームページのリニューアル、学校案内のリニューアル等により、最新の情報を広報、周知することに努める。 個別相談体制を充実し、より多くの受験生・保護者に来校を促し、受験生、編入生のニーズに即した内容（メディア活用クラス等）をアピールし、生徒数確保に努める。	通年：計11回の進路相談会開催 通年：中学、高等学校訪問 通年：HPの更新、情報発信 通年：計3回の訪問チラシ作成 2月～4月：学校案内作成 1月～：入学試験
	②インターネットを活用した生徒募集活動	インターネットを活用した生徒募集活動をさらに推進する。 ホームページの刷新、情報発信の充実により、入学、転学希望者や保護者に最新の情報を発信する。	年間を通して実施
校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
管理運営 (事務)	①校務運営の円滑化	入学式、卒業式、校外学習、キャリア教育等を教学部門・全日制課程と連携し、円滑な実施を図る。また、新入生、転籍・転入生の増加を期すため、教育システムの充実、学校案内・ホームページリニューアルなど必要な予算を確保するとともに、教学部門・入試広報との連携を図る。	1年間継続して取り組む。
	②教育環境の充実・維持	新校舎でより充実した授業が展開できるようICT設備の整備をはじめとした生徒の学習環境の整備を図る。また、保護者面談および見学者の説明スペースの機器備品の整備を図る。 つくば研究学園方面からの生徒が増加傾向にあり、次年度に向けてつくば駅送迎の効果的な改善を模索し、推進する。	計画的に進めると同時に、安全確保を最優先に取り組む。